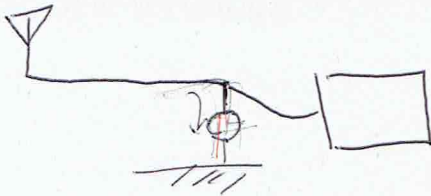


A-7 次の記述は、短波帯の一般的な同軸避雷器に用いられる、サージ防護デバイスについて述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

- (1) □Aは、電極間の静電容量が小さく、小形でも比較的大きな電流が流せるので、アンテナ系と送信機の間接続する同軸避雷器のサージ防護デバイスに適している。
- (2) □Aは、高電圧により電極間の□Bが変化し誘導雷などによるサージ電流をバイパスさせるものである。

- | A | B |
|-------------|--------------|
| 1 ガス入り放電管 | 距離 |
| 2 ガス入り放電管 | 抵抗値(インピーダンス) |
| 3 金属酸化物バリスタ | 抵抗値(インピーダンス) |
| 4 金属酸化物バリスタ | 距離 |



ガス入り放電管 小さなもの 高周波
 金属酸化物バリスタ 大きな 電力容量大
 50Hz 60Hz